

# 安全データシート

Japan

## 1. 化学品及び会社情報

**製品名** 10mM Glycin-HCl pH 2.5, 1 ml; part of 'Getting Started Biacore T200'

**コード番号** 28980886

**製品タイプ** 液体

**作成日** 7/1/2014

**発行日/改訂版の日付** 2025年9月8日

**前作成日** 2022年4月19日

推奨用途及び使用上の制限

**推奨用途**

分析化学。  
研究室用化学物質  
科学的な研究開発

Consumer use

-

### 供給元

グローバルライフサイエンステクノロジーズジャパン株式会社  
(Cytiva)  
新宿区百人町三丁目25番1号  
サンケンビルヂング  
東京都  
169-0073  
3-25-1, HYAKUNINCHO, SHINJUKU-KU, TOKYO  
TEL +81 3 5331 9336  
FAX +81 3 5331 9370

### 製造元

Cytiva  
Amersham Place  
Little Chalfont  
Buckinghamshire  
HP7 9NA United Kingdom  
+44 1494 508000

## 2. 危険有害性の要約

**化学品のGHS 分類** 区分に該当しない。

### GHS ラベル要素

**注意喚起語** 注意喚起語なし。

**危険有害性情報** 重大な作用や危険有害性は知られていない。

### 注意書き

#### 概要

**安全対策** 非該当

**応急措置** 非該当

**保管** 非該当

**廃棄** 非該当

**その他の危険有害性** 認知済みのものは無し。



## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

安全取扱注意事項	適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。
衛生対策	本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

**保管**

**安全な保管条件** 以下の温度範囲で保管する: 4 から 8°C (39.2 から 46.4°F)。 現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は急急に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

## 8. ばく露防止及び保護措置

<b>設備対策</b> ばく露限界 <b>生物学的曝露指数</b> 曝露指数は不明です。	全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。
<b>保護具</b>  <b>呼吸用保護具</b>  <b>手の保護具</b>  <b>眼、顔面の保護具</b>  <b>皮膚及び身体の保護具</b>	<p>危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。</p> <p>リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。</p> <p>リスクアセスメントの結果、必要とされた場合は、液体飛まつ、ミスト、ガスあるいは粉じんへのばく露をさけるため、承認基準に適合する安全眼鏡を着用すること。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない：側方シールド付の保護眼鏡。</p> <p>作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。</p> <p>この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。</p>

## 9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

物理状態	液体						
色	無色。						
臭い	無臭。						
臭いのしきい値	非該当						
pH	非該当						
融点／凝固点	0°C (32°F)						
沸点又は初留点及び沸点範囲	100°C (212°F)						
引火点	非該当						
蒸発速度	非該当						
可燃性	非該当						
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	非該当						
蒸気圧	非該当						
	20°Cの蒸気圧	50°Cの蒸気圧					
	化学名又は一般名	mm Hg	kPa	方法	mm Hg	kPa	方法
	水	17.5	2.3				
相対ガス密度	非該当						
又は相対密度	非該当						
水への溶解度	非該当						
水混和性	該当。						
n-オクタノール／水分配係数	非該当						
自然発火点	非該当						
分解温度	非該当						
粘度	動的(室温): 非該当 動粘性率(室温): 非該当 動粘性率(40°C (104°F)): 非該当						
粒子特性							
中央粒径値	非該当						

SADT	非該当
粘度	動的（室温）: 非該当 動粘性率（室温）: 非該当 動粘性率（40°C（104°F））: 非該当
流出時間（ISO 2431）	非該当
燃焼速度	非該当
燃焼時間	非該当

10. 安定性及び反応性

反応性	この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	製品は安定である。
危険有害反応可能性	通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	特にデータは無い。
混触危険物質	特にデータは無い。
危険有害な分解生成物	通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

**急性毒性**  
非該当

**急性毒性の推定**  
N/A

**皮膚腐食性／刺激性**  
非該当

**結論/要約[製品]** 非該当

**深刻な眼の損傷/眼の炎症**  
非該当

**結論/要約[製品]** 非該当

**呼吸器の腐食/刺激**  
非該当

**結論/要約[製品]** 非該当

**呼吸器感作性又は皮膚感作性**  
非該当

**皮膚**  
**結論/要約[製品]** 非該当

**呼吸器系**  
**結論/要約[製品]** 非該当

**生殖細胞の変異原性**  
非該当

**結論/要約[製品]** 非該当

**発がん性**  
非該当

結論/要約[製品]

非該当

生殖毒性

非該当

結論/要約[製品]

非該当

特定標的臓器／全身毒性(単回ばく露)

非該当

特定標的臓器／全身毒性(反復ばく露)

非該当

誤えん有害性

非該当

12. 環境影響情報

毒性

非該当

結論/要約[製品]

非該当

残留性・分解性

非該当

結論/要約[製品]

非該当

生体蓄積性

非該当

土壤中の移動性

土壌/水分係数

非該当

移動性

非該当

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
国連番号	非該当	非該当	Not regulated.
品名	-	-	-

国連分類 クラス	-	-	-
容器等級	-	-	-
環境有害性	非該当。	非該当。	No.
追加情報	-	-	-
使用者のための特別な予防措置	使用者の施設内での輸送: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。		
IMO機器による積み運び	非該当		

15. 適用法令

消防法

非該当

消防活動阻害物質 非該当

労働安全衛生法

特定化学物質障害予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則 非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

名称等を通知すべき危険物及び有害物

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質 (労働安全衛生規則 第594条の2 第1項)

非該当

安衛則第577条の2の規定に基づくがん原性物質

非該当

変異原性物質

非該当

腐食性液体 非該当

労働安全衛生法施行令 別表第一 危険物 非該当

製造の許可を受けるべき有害物 非該当

製造等が禁止される有害物等 非該当

化学物質審査規制法

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

日本産業衛生学会 発がん性物質 非該当

海洋汚染防止法 非該当

道路法 非該当

特別管理産業廃棄物

非該当

国際規制

化学兵器禁止条約リストスケジュールⅡ、Ⅲの化学物質

非該当。

モントリオール議定書

非該当。

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約

非該当。

事前通報承認制度(PIC)に関するロッテルダム条約

非該当。

POPおよび重金属に関するUNECEオルフス(Aarhus)議定書

非該当。

国際リスト

国別目録

日本	日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質): 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。 日本インベントリー(ISHL): 未確定。
米国	すべての構成成分がアクティブか、または免除されます。
カナダインベントリー	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
中国	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

16. その他の情報

履歴

印刷日	9/8/2025
発行日/改訂版の日付	2025年9月8日
前作成日	2022年4月19日
バージョン	5
	sds_author@cytiva.com
	ATE = 急性毒性推定値 BCF = 生物濃縮係数 GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム IATA = 国際航空運送協会 IBC = 中型運搬容器 IMDG = 国際海上危険物 LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数 MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。("Marpol" = 海洋汚染) N/A = データなし UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
区分に該当しない。	

参照 非該当

前バージョンから変更された情報

注意事項

我々の知る限りにおいて、ここに記載した情報は正確です。しかしながら、上記の供給業者あるいはその子会社のいずれも、ここに記載した情報の正確さあるいは完全性に関していかなる責任も負うものではありません。  
製品の適合性については、ご使用各位の責任において決定してください。全ての物質は未知の危険有害性を含んでいる可能性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ここには特定の危険有害性が記載されていますが、これらが存在する唯一の危険有害性であることが保証されているものではありません。